# 「加藤泰三コレクション」と「森下清文コレクション」を活用した戦後のマンガ雑誌・単行本の書誌データ作成事業

**団体名**　一般社団法人マンガアーカイブ機構

## 概要／課題

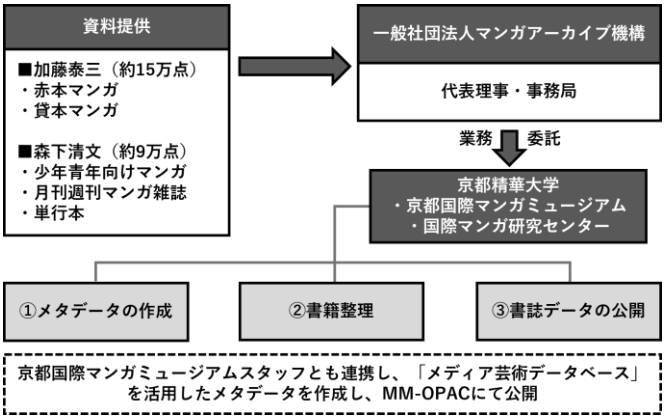
長らくマンガのコレクションは、公共の図書館や博物館というより、個人のコレクターの尽力によって構築されてきた。そのため体系的なアーカイブには限界があり、戦後マンガ史の全体像を把握することが困難な状態が続いている。

今回、マンガの研究者や愛好者のあいだでは部分的に知られていながらも、その全貌はおよそ明らかになっていなかった、関西在住のコレクター「加藤泰三（たいぞう）（Ｆ・Ｍ　ロッカー）氏」と「森下清文（せいぶん）氏」の戦後のマンガ雑誌・単行本コレクションのメタデータを作成し、その情報を広く公開・共有することで、マンガの教育・研究はもとより、マンガアーカイブを活用した多様な事業を推進するため本事業に取り組んだ。

## 体制／手法

２名のコレクションは当法人が寄託を受けて管理を行い、データ作成は、当法人会員であり、アーカイブ事業の一翼を担う機関として位置付けられている京都精華大学に委託して行った。

作成したデータは、京都市と京都精華大学の共同事業である「京都国際マンガミュージアム」のデータベース「MM-OPAC」の仕様に合わせて作成し、完了後に「MM-OPAC」に搭載し、公開した。




## 成果

【成果物】

■加藤泰三コレクション

「カバヤ文庫」シリーズ、「中村書店」シリーズ等の赤本・貸本等マンガ本（雑誌・単行本）資料26,280点の書誌データを作成し、書籍資料の整理を行った。

■森下清文コレクション

『週刊少年サンデー』、『週刊少年マガジン』等のマンガ本（雑誌・単行本）資料68,720点の書誌データを作成し、書籍資料の整理を行った。

【公開】

京都国際マンガミュージアムの「MM-OPAC」にて公開

[URL] https://opac.kyotomm.jp/mm_web_public/top/index?langSwitch=JP

【文化的・社会的・経済的な意義】

■今回のデータ公開によって、日本全体におけるマンガ本資源の全体像が明らかになるだけでなく、マンガ史研究をはじめとする大衆文化研究に重要な情報を提供することができる。

■両コレクションは、将来的に、当法人がマッチングをコーディネイトする形で、適切な施設に正式に寄贈されることが期待されている。本事業におけるメタデータおよびモノとしての書籍の整理と、データの公開は、そうしたマッチングのための準備として欠かせない事業となった。